2025年1月24日作成
第 1.0 版

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ
臨床研究へのご協力のお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたくないとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

黄斑円孔自然閉鎖に対する黄斑構造の影響

1. 対象となる患者さん
２０１３年4月～２０２２年１０月の間に当院で黄斑円孔の治療を受けられた患者さん

2. 研究責任者
鹿児島大学病院　感覚器センター眼科　寺﨑　寛人

3. 研究の目的と意義
この研究は、カルテ情報を解析し、手術を行わずに黄斑円孔が自然に閉鎖する要因を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、手術を必要にしない症例を予測できれば患者さんの負担を減らすことに繋がることが期待されます。

4. 研究の方法
５．に示す情報を対象の患者さんのカルテから収集し、黄斑円孔が自然閉鎖する因子を明らかにします。

5. 使用する情報
診療情報：年齢、性別、眼の左右、屈折値・眼軸長・眼圧・視力、光干渉断層計画像、円孔径、黄斑形状

6. 情報の管理責任者
鹿児島大学病院　感覚器センター眼科　寺﨑　寛人

7. 研究の実施体制

この研究は、他の機関と共同して実施します。実施体制は以下のとおりです。

研究代表者

奈良県立医科大学附属病院　眼科　藤原　克彦

当院の研究責任者

鹿児島大学病院　感覚器センター眼科　寺﨑　寛人

共同研究機関と研究責任者

奈良県立医科大学附属病院　眼科　藤原　克彦
久留米大学病院　眼科　吉田　茂生
市立札幌病院　　眼科　清水　美穂
徳島大学病院　　眼科　山田　将之
三重大学医学部附属病院　眼科　加藤　久美子

8. 外部機関への情報等の提供

この研究で使用する情報を以下の機関に提供します。提供する際は、患者さんのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

機関名：奈良県立医科大学附属病院
研究責任者：眼科　藤原　克彦
提供方法：電子的配信

9. 研究期間

研究機関長の実施許可日～２０２９年3月３１日

10. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

11. お問合せ先

鹿児島大学病院　感覚器センター眼科　寺﨑　寛人
〒890-8520
鹿児島市桜ヶ丘八丁目 35 番 1 号
TEL：099-275-5402